

コザ(ラグビー)13年ぶりV

序盤は攻守で精彩を欠き、名護に制トライを許したコザだが、時間がたつにつれて地力を発揮した。前半13分、FW比屋根のチーム初トライが決まり、硬さが取れ、コザらしい、早い展開の攻撃が開始。

同19分には名護側が守備の態勢を整える前に、コザ攻撃陣が素早いリスタートで仕掛けた。一気に縦を突破して中央へ飛び込み、勝ち越したトライを奪った。その後も終始名護を、バックスのスピード感あふれる攻撃で上回った。早い展開を生み出したのは、スクラムなどで球出しを行う比屋根裕樹。広い視野と正確なパスで、素早い縦突破を演出した。比屋根のくつろぎを、機動力と強さを兼ね備える當眞卓らバックス陣が得点に結びつけた。終盤、名護に追い上げられる場面もあったが、しっかりとリードを保ち38-21で勝ち切った。それでも比屋根は「いつも通りやれば、もっと速い攻撃が出せた」と、まだまだといった様子だった。

次の九州は初戦で、高校ラグビー界の横綱・東福岡と戦う。當眞監督は「負けるとしても、胸を借りるつもりもない」と必勝を強調。當眞卓も「失うものはない。どれだけ日本一に近づけるか、楽しんで」と対戦を心待ちにする。(普久原裕南)

焦点

機動力と強さ 持ち味存分

コザ一名護 後半30分、中央タメ押しトライを決めるコザの當眞卓。右、名護21世紀の森ラグビー場（諸見里貞利撮影）



九州初戦へ必勝誓う

(2012年6月8日 26面)

☆写真からどんなことが伝わってくるか、感想を言ってみよう。

☆コザの比屋根裕樹選手、當眞卓選手が持ち味とするのはどんなプレーかな？文章から読み取ってみよう。

年 組 名前 _____